

斗次第三色

納斗チサノノマス 十合納斗ヲ時料ニ延分一升ニ一合六
納斗チサノノマス 十合納斗ヲ時料ニ延分一升ニ一合六
納斗チサノノマス 十合納斗ヲ時料ニ延分一升ニ一合六

庄ノ納斗ノ百姓ノ一升ハ、時料一升一合六勺ニ延、

〔安東郡專當沙汰文〕一在地御倉付之時御糶納之升勢寸法事

弘六寸深二寸五分也、鐵尺定中寸高納在之升上居程爲限、

○按ズルニ、此積九十寸ナレバ、其ノ一升ハ、京升ノ十三合九勺四才餘トナルベシ、
〔古今要覽器財〕春日目代米納升。

春日目代米納斗は、長一尺三寸、横一尺二寸五分、深二寸八分、この積四百五十五寸あり、そのいり目、京升の七升〇四勺八撮有奇にあたる、その銘に米納斗とあれば、斗升なるべし、しかれば、一升は京升の七合〇四撮有奇にあたる、

〔甲斐國志國法〕奉使小録ニ云、慶長四年、勢州ノ古田兵部請取書ニ、米壹石拾分トアリ、信州安曇郡

ニテハ、元和ノ比六分ナリ、元和二年ノ印

元辰之納舟場野平上臈御算用之事

小左衛門印

高四拾九石三升七合者

右之拂方

一貳拾六石八斗五升

殘而貳拾貳石壹斗八升七合

此外合九斗貳升

〆貳拾三石壹斗七合ハ

拂升也

印庫

鹽平綿午時與小使請
引